

令和2年3月27日

連合会長
地連会長 各位

公益財団法人 全日本弓道連盟
会 長 増 田 規一郎
(公印省略)

令和2年度弓道指導者の育成事業（講習会・研修会）について

標記のこと、令和2年度の弓道指導者の育成事業（講習会・研修会）については、矢羽に関する調査委員会が取りまとめた調査報告書において「全弓連としてとるべき今後の対応」および「全弓連としての具体的な改革の視点」が明示され、問題の所在と併せて講習会等での指導のあり方についても指摘を受けており、審査・講習会関連委員会ならびに諮問会議での判断を踏まえ事業内容の抜本的な見直しを行う必要があると考えております。

については、令和2年度に関しましては、以下の講習会・研修会の実施を取り止める方向で予定させていただくとともに、令和3年度に向けて審査・講習会関連委員会等にて指導内容やカリキュラムなどを検討し、新たな指導者育成体制の再構築をいたしたいと存じますのでご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

記

- ・地区指導者講習会（全国11地区）
- ・指導者育成講習会（〃10地区）
- ・学校弓道指導者講習会（5地区）
- ・中央研修会
- ・錬士号取得特別講習会
- ・主任講師研修会・講師研修会

※新たな指導者育成体制(案)が纏まりましたら、令和2年度中に審査委員・講師等の関係者に対して説明の機会を設ける予定としております。開催時期等については、改めてご連絡差し上げます。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえて、令和2年度の行事計画については、5月に開催予定の理事会での決議を経た上で正式に通知いたしたいと存じますので、その旨ご了承くださいようお願いいたします。

以上